

4GFIと比較した2GFIの異なるIPからのSNMPポーリング応答

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[VIPがSNMPポーリングされた場合のテスト出力に6200と6400 FIのさまざまな動作が示される](#)

[FI 6248 wWith UCSM Firmware 4.0.4e](#)

[UCSMファームウェア4.0.4dを搭載したFI 6454](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Simple Network Monitoring Protocol(SNMP)が6454 FIと比較して6200 Fabric Interconnect(FI)に移動または受信する場合のさまざまな動作について説明します。ステートフルファイアウォールは、FI 6200の仮想IP(VIP)のSNMPウォークに対する物理IP応答をブロックする可能性があります。6454 FIではこの問題は見られません。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Unified Computing System Manager(UCSM)ドメインへの接続が可能なサーバにSNMP Walk Toolがインストールされている。
- 6248 FIおよび6454 FI

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Unified Computing System Manager(UCSM)ドメインへの接続が可能なサーバにSNMP Walk Toolがインストールされている。
- UCSMファームウェア4.0(4e)を搭載した6248 FI
- 6454 FI(UCSMファームウェア4.0(4f))

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

